

はあ〜てい

10月1日号

2012

「はあ〜てい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。



聞こえない人が安心して暮らす町は、いつでも・どこでも手話のあふれる町です。その実現の為に、通訳者と共に話しあいます。



市民に理解を求めるためのパンフレットを配布しました。



手話通訳を付けて情報を得ながら、いろいろなこと学ぶ場を設けています。



スポーツや飲み会などで楽しく交流を深めます。

聞こえない人も

安心して暮らせる町をめざして

私たち益田市聴覚障害者協会は、昭和六十二年に設立し、益田市及び鹿足郡在住の聞こえない人（ろう者）が集まった団体です。会員の主な「コミュニケーション」の手段は「手話」であり、現在三十一人が在籍しています。

当協会は、ろう者間はもちろん、手話を学んでいる聞こえる人達との交流や、ろう者が幸せに暮らすための取り組みも行っています。耳が聞こえない悩みについても共に情報交換をしています。

今年度の当協会の運動目標として次の三つを掲げました。

① 市役所の正規職員として手話通訳者の設置

② 休日、時間外時に緊急的に必要になった手話通訳派遣制度の実現

③ 全日本ろうあ連盟が掲げている「手話言語法（仮）」の制定に向けての学習、及び、市民に「手話は言語である」ことを広げる。

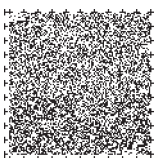
私たち聞こえない者は、現在の社会において、様々な制約を受けています。それは、聞こえないことが原因ではありません。私たちの受けている制約をなくすために重要なことは、聞こえないことを補うための配慮や制度であり、一人ひとりの気付きや理解があることではないでしょうか。聞こえる人と同じように暮らすためには、私たち自身が聞こえない人の存在と、置かれている現実を社会に伝え知ってもらうことだと、それが運動だと実感しています。ぜひ、私たちと楽しみながら活動してみませんか!!お待ちしております。

お問い合わせ先

益田市聴覚障害者協会事務局（中島）


FAX：0856-22-4688

TEL：0856-23-6954（社協）



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
社協ホームページ http://masuda-shakyou.or.jp/

 この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



就任のごあいさつ

益田市社会福祉協議会

会長 齋藤 眸

平成15年1月以来10年の永きに亘り、社会福祉協議会の組織強化と地域福祉推進に多大なご貢献を頂きました田中稔前会長が去る6月16日をもって勇退されました。

その後任として、私が会長、引続き石本建一理事が副会長を務める事になりました。

会長としての重責に戸惑いを感じておりますが、田中前会長が培われた福祉基盤の上に立って、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りその職責を果たしてまいりたいです。

今日、少子・高齢化の進展、地域社会機能の脆弱化や人と人とのつながりの希薄化に伴って、人びとが有する福祉課題、ニーズも多様化・複雑化してきています。また昨今の社会・経済状況の変化に対応して、社会福祉事業、社会福祉法人、福祉事務所などに関する基本的な枠組みを規定していた社会福祉の基礎構造改革が行われるなど、住民参加による地域福祉の推進と利用者による選択の尊重、サービスの効率化などを柱とした新しい社会福祉の方向性が示されています。

そうした中、地域福祉活動の中核を担う社会福祉協議会の役割はますます重要になってきており、3年を目前に市民の皆さんに参加して頂き、益田市と社会福祉協議会が連携し「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」を策定しています。社協では特に、要援護者に対し、身近な地域で声かけ・見守りなどを行う「小地域福祉ネットワーク事業」や高齢者の健康や生きがいづくりを目的とした「ふれあい・いきいきサロン事業」「相談事業」等、地域の福祉向上に努力しています。しかし、「一人ひとりの尊厳が重んじられ、誰もが互いに支えあって心豊かに暮らせる地域社会」を築くには、今こそ一人ひとりの市民、ボランティア、NPO、社会福祉事業関係者、行政がともに地域福祉のまちづくりのため連携・協働していくことが必要だと感じています。

終わりに、地域福祉の推進にご尽力いただきました田中稔前会長に心からの敬意と感謝を表しますとともに、今後社会福祉協議会の事業推進に、皆様方の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とします。

益田市社会福祉協議会 役員・評議員のお知らせ

任期満了に伴い、6月17日付けで益田市社会福祉協議会の役員を、6月4日付けで評議員を改選いたしました。任期はいずれも2年です。評議員(43名の紹介)につきましては割愛させていただきます。今年度も社協事業の推進について、市民のみなさまをはじめ、行政、福祉関係機関・団体のみなさまの変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。

【益田市社会福祉協議会役員】

(五十音順、敬称略)

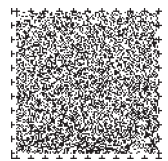
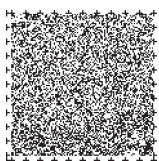
会長	齋藤 眸 (高津五丁目)
副会長	石本 建一 (東町)
常務理事	福原 正巳 (下本郷町)
理事	石田 敏治 (久々茂町)
	岩本のりこ (あけぼの本町)
	大久保 稔 (下本郷町)
	笹川 清 (高津四丁目)
	澤江 久介 (美都町山本)
	竹田 和夫 (匹見町道川)
	田中 敦 (木部町)
	中島 教祐 (須子町)
	中島 正紀 (喜阿弥町)
	永本 鶴枝 (須子町)
	原 伸一 (久城町)
	山崎 善行 (美都町笹倉)
	山本 尚 (中吉田町)
	渡辺 隆 (匹見町紙祖)
	吉川 富男 (水分町)
	竹内 優機 (あけぼの西町)
	本井 宗明 (高津四丁目)
	田中 稔 (乙吉町)

ひとまるの里小野っ子・通学合宿2012年



小野地区振興センター玄関前で

小野地区振興センターでは、地域の青少年健全育成の一環として、子ども達が親元から離れ異年齢集団での共同生活や、大人との交流体験活動しながら通学すること、日常的な生活習慣や社会性を身につけるきっかけづくり』をすることを目的に、毎年夏休み前に行われており、今年で10回目となりました。今年、7月8日(日)～11日(水)の3泊4日で行われ、戸田小の5・6年生の希望者15名が参加し、食事の準備や掃除・洗濯・片付け・地域の人たちとのふれあい交流会など、様々な経験をしました。



赤い羽根共同募金運動が始まります



10月1日▶12月31日

市民のみなさまのご理解、ご協力に支えられ、赤い羽根共同募金運動が10月1日からスタートします。みなさまからお寄せいただいた寄付金は、みなさまがお住まいの地域の様々な福祉活動や、ボランティアの支援のために役立させていただきます。今年も赤い羽根共同募金に、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

一般募金目標額 13,630,000円

歳末たすけあい募金目標額 4,861,000円

10月1日(月)には、市内のスーパー前等で街頭募金を行います。

街頭募金協力者は、高校生ボランティアサークル「ファイブハーツ」、匹見保育所園児、道川児童館園児、共同募金助成受益団体、福祉関係者です。



共同募金で実施される事業紹介

共同募金は、計画募金です。翌年の事業申請を行い、共同募金委員会で決定されると、翌年の事業費として助成されます。来年度は下記の地域の福祉の為に使われます。

●高齢者福祉事業

- ・高齢者ふれあい見守りによる生活支援事業
(小地域ネットワーク活動)
- ・友愛メール事業等

●児童・青少年福祉事業

- ・子ども若者健全育成事業
- ・市内小・中・高校対象の福祉教育指定事業
- ・ふれあい子育てサロン
- ・子ども連絡会協議会による子ども会リーダー研修事業等

●障がい児・者福祉事業

- ・障がい者スポーツ大会
- ・知的障がい者交流研修事業等
- ・障がいのある子の余暇活動を支援する助成事業

●住民全般福祉事業

- ・社協だより「はあ〜てい」発行事業
- ・福祉用具貸出事業
- ・お買い物サービス事業(匹見)
- ・老人クラブの地域を豊かにする活動

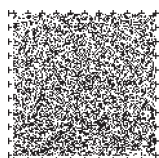


老人クラブ 地域を豊かにする活動でカーブミラー磨き



子育てサロン 馬事公苑にてヤギの餌やりを楽しみました

※簡単にできる募金活動として、図書カード募金・クオカード募金があります。1,000円でカードを購入して頂き、その内の500円が募金となります。希望される方は、下記までご連絡下さい。



島根県共同募金会益田市共同募金委員会

益田市須子町3-1 益田市社会福祉協議会内

TEL: 22-7256 FAX: 23-4177

